



# 北相中学校だより

合い言葉は 「挑戦・貢献・創造・誇り」



令和6年度

No. 1

スタート号

4月11日発行

## 令和6年度がスタートしました よろしくお願ひします

校長 望月はる美



桂北小・千木良小学校から合計27名の新入生です。

4月8日、本校体育館で無事入学式を挙行することができました。新入生の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。本年度も教職員一同、新たな出会いを大切に、教師と生徒の信頼関係のもと、学校教育目標である『豊かな心と確かな判断力を

持ち、自ら学び、互いを高め合える生徒を育成する』ことを目指してまいります。



入学式の様子を少し紹介します。まず司会の「新入生入場」の合図で、学校評議員の皆様やPTA会長様を始め大勢の保護者の皆様や先輩たちから温かい祝福を受ける中、新入生が緊張しながらも胸を張って体育館に入場してきました。体育館中に拍手の音が響きました。

上：校旗を先頭に、担任に続いて堂々の入場でした。

下：お子様の入場する姿を見つめる保護者の皆様の姿。



学校長式辞の中で新入生に「**学校生活を充実したものにするために最も大切なものは何だと思えますか。**」と問いかけました。新入生だけでなく、全校生徒全員がじっくり考えてほしい内容です。一人ひとり答えが違って不思議はありませんが、私なりの答えとして「**仲間**」をあげました。かけがえ

のない仲間がいれば、困難なことも乗り越えていけるだろうということ。そして、先輩方も先生方もみんな北相中学校の仲間だということを語りかけたつもりです。加えて「仲間」を作るために心にとめてほしいことを2つ紹介しました。

- 1つ目は、自分からあいさつをすること。
- 2つ目は、違いを認め合うということ。



身近にある「おはよう」「さようなら」「いただきます」「ありがとう」「ごめんなさい」といったあいさつ言葉を自然に口にできるようになってほしい、自分中心にしか考えない身勝手な人にはならず、互いを認め合える関係を作っていってほしいという思いをこめました。ドイツの詩人シラーの言葉に『**友情は喜びを二倍にし、悲しみを半分にする**』とあります。新入生だけでなく、北相中学校に集う誰もが仲間の喜びを二倍にし、悲しみを半分にする存在になってほしいと願っています。



挨拶が最後になってしまいました。北相中学校長 望月はる美と申します。早いもので北相中学校3年目を迎えました。生徒が「挑戦・貢献・創造・誇り」を全身で実感できるよう、教育活動に全教職員で尽力していきます。昨年度と同様に、保護者・地域の皆様方の温かいご支援と、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。1年間よろしく願いいたします。

<b>4月の主な予定</b> すでに終了した活動もあります					
8日	月	着任式・始業式・入学式	17.18日		3年：全国学力・学習状況調査
9～15日		全学年弁当必要(給食無し)	19, 25, 26日		1年：仮入部
10日	水	身体測定	22日	月	全学年保護者会・尿検査
		新入生オリエンテーション	24日	水	耳鼻科検診
16日	火	給食スタート			
<p>※令和6年度の年間行事予定(案)につきましては、2月末に学校HPに掲載いたしました。変更等がありましたら4月の保護者会でお示しする予定です。</p> <p>※4月中に行われる春季大会の予定につきましては、部ごとに確認をしてください。</p> <p>※年度の初めにあたり、提出いただく資料が多数ございます。締め切り日をご確認の上、担任までご提出ください。</p>					

入学式に先立ち、新しく本校に来られた2名の先生方の着任式、始業式を行いました。2, 3年生たちによる会場の準備や片付けはたいへん手際よく、また、着任式、始業式に臨む態度も立派でした。これからの学校行事での活躍する姿が想像でき、とてもわくわくしました。